

## (2) 地域自治区制度に関する追加質問の意見

### **<豊田市>**

- 「地域予算の幅が広がっている。」との回答ですが、具体的な違いが分かる  
と良いと思います。さらに、予算の配分は、どうなっているのか、農山村部は、  
人口も世帯も少なく、人口割りなどから算定すると予算規模は少なくなってい  
ると考えられます。幅広がっていることと反比例しているのか、もう少し詳  
しく聞きたいと思いました。
  
- 人と人がつながる仕組みについて、都市部と山間部という地域性と向き合いな  
がら苦勞されている面が伺えた。

### **<宮崎市>**

- 人材育成は、必須だと思います。この取り組みを新城市でも採用すると良いと  
思います。
  
- 宮崎市の地域のお宝発見発信事業が、地域自治区に若干似てるなと思ったとと  
もにすごくいいなと思った。ただ、補助金がないと動けない団体になってしま  
うとダメだなとは思っているので、難しいなと思いました。
  
- 宮崎市の実例で「ノウハウを有する人材をアドバイザーとして」の部分は、待  
っだけの姿勢だけではなく、行政側からのアプローチが住民協働への舞台づくり  
の演出に寄与していることが参考になった。
  
- 宮崎市の人材派遣は、定常的なものなのかが気になった。地域住民のニーズを  
聞いて適切な手段を提示できる人間は新城でも必要であると思う。

### **<飯田市>**

- 役員のなり手不足、負担感について、どこでも抱えている問題であると認識し  
ましたが、この解消に向けて、新城市でも委員に、多様な人材の登用は欠かせ  
ないと思います。新城市の一部の地域協議会では、PTA 役員や地域活動団体、  
消防団などを委員に加えている協議会もありますので、そうした協議会の状況  
をヒアリング調査することも必要だと思います。
  
- 新城市での若者の登用は、飯田市のような歴史のある公民館活動は無理として  
も、若者議会委員の登用や、区役員に若者を登用するなどの仕組みをつくって  
いくなどでできると良いのですが。  
※例えば、新城市区長の設置等に関する条例第 2 条「区長の職務等」に、「若  
者等多様な人材の育成に寄与すること」を加えるなどとか。

○地域協議会の役員のなり手不足や負担感などの問題を抱えている事はどこも同じなのだと思います。若者の自治活動での参加の入口はライフステージごとに行われる各種イベント（幼稚園～小・中学校保護者会、お祭り、消防団など）で、まちづくりにどのよう繋げるのかがポイントだ。各種イベントと地域協議会と情報交換や連携を図り、担い手を育成しなければならないと感じた。

○飯田市の公民館活動のように、新城市若者議会も自治活動の入口と言える団体になっていたら良いのではないかと思います。若者議会で得た考え、経験したことを委員等の地元の協議会に落とし込めたら、より良いまちづくりができていくのではと感じます。

○どこの地区でも役員のなり手、負担は課題だと思います。飯田市への質問回答に、保育園、小中学校の保護者会などがありますが、私自身も子育てをしていく中で、保護者会の役員になったことから活動の範囲などが広がりました。地域や子育てなどに前向きな考えを持っている方を繋ぎとめる機会となればと思います。

市民一人ひとりが問題点を話し合い、より良くするために意識を高めることができればと思います。地域協議会で交付金の審査等だけでなく、もっと行動にうつせる組織になるといいです。

○地域の自治活動を担うのは… 新城では活動をどこが担っているのか。そのことが持続可能なあり方か。担っている市民はどう受け止めているのか。が先々の課題になるかと考えます。

○公民館活動が直接運営に寄与していないとあるが、自治運営組織の人口をなっていることから、この二つの間の関係性について詳しく聞きたい。単純にほぼ市民全員が公民館活動に参加しているため、自治運営組織に入る人は、元公民館活動をしていた人になるのか、公民館活動をすることで若者の考え方や行動に大きな変化が出るのか、では話が変わってくるので掘り下げて聞きたい。

○地域協議会やまちづくり委員会のベースは、地域の防災活動、消防団活動など、子ども園や保育園の保護者会、小中学校のPTA、公民館活動や青年団の活動、地域に根ざした文化活動などであると思います。地域協議会は、交付金や人的応援により、これらの自治活動を支援しており、まちづくり委員会は、組織（体制）やシステム（機構）の支援を行うものと思っています。細かいことは、新城市内の各自治体と同様に大いに違うと思います。ベースは同じようなものと思います。詳しいことを知るためや分析するためには、現地におもむいて調べる必要があると思います。

○やはり役員等の参加者のなり手に御苦労され、将来の担い手である若者への期待が大きく感じられました。担い手は、退役して年金を頂き始めた中高年が主となって活動をすべきと思っており、ちょうどコロナ禍のこの大変な時期が重なり、その担い手になる時間と責務がある中高年こそ、お手伝いする場の提供策が必要ではと思う。役員に嵌めることの窮屈さからの開放策をパートタイマー的な参加策で求められるスキルが広範過ぎて責任が持てないとの遠慮心等に対して、単機能的な参加で役に立てる策の構築が急務ではと思う。

### <豊田市、飯田市、宮崎市>

豊田市の2,000万円の「地域予算提案事業」、宮崎市の「地域のお宝発掘・発展・発信事業」の詳細を聞いてみたいと思いました。

※地域自治区への通常配分予算と別立てなのか、新城市の「地域活動交付金」「地域自治区予算」「めざせ明日のまちづくり事業補助金」との違いはあるのか、などです。